

報道機関 各位

資料提供	平成29年	4月28日
	秋田空港管理事務所	総務班
担当者	副主幹 加藤 徹	
	主査 渡邊 敦	
TEL	018-886-3362	
美の国あきたネット掲載	(有)	無

平成28年度の秋田空港利用状況について

平成28年度の秋田空港の利用者数は、1,205,549人（搭乗率67.8%）で前年度より12,815人減少し、前年度比98.9%であった。利用者数が120万人を上回ったのは、平成27年度から2年連続である。

国内線の利用者数は、1,205,549人（搭乗率67.8%）で前年度より2,150人増加し、前年度比100.2%であった。

また、国際線のソウル仁川便は、平成28年度の1年間は運休していたため、利用者数は前年度より14,965人減少した。

なお、チャーター便は、国内外合わせて90便、利用者数11,690人（搭乗率83.5%）であった。

1 路線別の動向

①東京羽田線

利用者数は、842,500人（搭乗率71.1%）で前年度より8,023人減少し、前年度比99.1%であった。機材の小型化により提供座席数が大幅に減少したが、搭乗率は向上したため、前年度並みとなった。

②名古屋中部線

利用者数は、68,266人（搭乗率61.9%）で前年度より4,073人増加し、前年度比106.3%であった。5月の伊勢志摩サミットの効果や9月に開催された日本スポーツマスターズ2016秋田大会の影響により、前年を上回った。

③札幌千歳線

利用者数は、104,715人（搭乗率50.7%）で前年度より681人減少し、前年度比99.4%であった。機材の大型化があったものの、1日1往復の減便による影響などにより、前年度並みとなった。

④大阪伊丹線

利用者数は、190,068人（搭乗率68.4%）で前年度より6,781人

増加し、前年度比103.7%であった。9月に開催された日本スポーツマスターズ2016秋田大会の影響や、夜間駐機などによるダイヤの利便性の良さが利用者に受け入れられていること、また機材を大型化したことなどにより、前年を上回った。

2 貨物の動向

貨物の取扱数量は、入荷数量が793.8t、出荷数量が577.9t、合計で1,371.8tであった。入荷数量が57.2t、出荷数量が243.9tそれぞれ減少し、合計で301.1t減少した。入荷の主な品目は、精密機器や工業部品等で、出荷の主な品目は山菜や弁当等の食品類及び工業用部品等であった。

3 チャーター便の動向

チャーター便は、秋田-稚内間ほかの国内便が9便、秋田-台北間ほかの国際便が81便、合わせて90便であった。

利用者数は、国内便が417人（搭乗率57.0%）、国際便が11,273人（搭乗率85.0%）、合わせて11,690人（搭乗率83.5%）であった。

平成28年度の秋田空港利用状況

1 定期便利用状況

(単位：便、人)

路線名	平成28年度						平成27年度						利用者数 増減	利用者 数対前 年度比
	運航回数				利用者数	搭乗率	運航回数				利用者数	搭乗率		
	予定	実績	欠航数	欠航率			予定	実績	欠航数	欠航率				
東京羽田線(ANA)	3,650	3,617	33	0.9%	518,611	73.1%	3,660	3,640	20	0.5%	542,775	65.9%	△ 24,164	95.5%
東京羽田線(JAL)	2,920	2,880	40	1.4%	323,889	68.2%	2,928	2,914	14	0.5%	307,748	64.0%	16,141	105.2%
東京羽田線(計)	6,570	6,497	73	1.1%	842,500	71.1%	6,588	6,554	34	0.5%	850,523	65.2%	△ 8,023	99.1%
名古屋中部線(ANA)	1,504	1,485	19	1.3%	68,266	61.9%	1,486	1,471	15	1.0%	64,193	59.0%	4,073	106.3%
札幌千歳線(ANA)	1,460	1,428	32	2.2%	54,226	51.3%	1,464	1,430	34	2.3%	52,001	49.1%	2,225	104.3%
札幌千歳線(JAL)	1,460	1,397	63	4.3%	50,489	50.1%	1,878	1,788	90	4.8%	53,395	59.4%	△ 2,906	94.6%
札幌千歳線(計)	2,920	2,825	95	3.3%	104,715	50.7%	3,342	3,218	124	3.7%	105,396	53.8%	△ 681	99.4%
大阪伊丹線(ANA)	2,190	2,171	19	0.9%	106,753	66.3%	2,196	2,167	29	1.3%	104,007	64.9%	2,746	102.6%
大阪伊丹線(JAL)	2,190	2,141	49	2.2%	83,315	71.3%	2,196	2,152	44	2.0%	79,280	70.5%	4,035	105.1%
大阪伊丹線(計)	4,380	4,312	68	1.6%	190,068	68.4%	4,392	4,319	73	1.7%	183,287	67.2%	6,781	103.7%
国内線計	15,374	15,119	255	1.7%	1,205,549	67.8%	15,808	15,562	246	1.6%	1,203,399	63.9%	2,150	100.2%
ソウル仁川線(KAL)	運 休						158	158	0	0.0%	14,965	60.3%	△ 14,965	—
全線合計	15,374	15,119	255	1.7%	1,205,549	67.8%	15,966	15,720	246	1.5%	1,218,364	63.9%	△ 12,815	98.9%

2 貨物取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

全線	平成28年度	平成27年度	増減
貨物入荷(t)	793.8	851.0	△ 57.2
貨物出荷(t)	577.9	821.8	△ 243.9
計(t)	1,371.8	1,672.9	△ 301.1

うち国際線(仁川)分	平成28年度	平成27年度	増減
貨物入荷(t)	0.0	2.5	△ 2.5
貨物出荷(t)	0.0	0.5	△ 0.5
計(t)	0.0	3.0	△ 3.0

3 郵便取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

郵便取扱量	平成28年度	平成27年度	増減
郵便(t)	409.4	453.8	△ 44.3

4 チャーター便利用状況

(単位：便、人)

国内・国際別	平成28年度	平成27年度	便数 増減	平成28年度		平成27年度		利用者数 増減
	便数	便数		利用者数	搭乗率	利用者数	搭乗率	
国内便	9	0	9	417	57.0%	0	—	417
国際便	81	37	44	11,273	85.0%	5,855	94.0%	5,418
合計	90	37	53	11,690	83.5%	5,855	94.0%	5,835